◆システム・アーキテクチャ（ARC）研究会

［主査：五島 正裕，幹事：小野 貴継・津邑 公暁・三輪 忍・山下 浩一郎］

# 定例の研究会活動報告

第207～211回の研究発表会を開催した．

* 第207回 2015/05/26（火）～ 27（水） ＠ルネッサンスリゾート沖縄（OSと共催）

発表20件．

* 第208回 2015/08/4（火）～ 06（木） ＠別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ （SWoPP）

発表44件．SWoPPとして，HPC，OS，PROなどと同時開催であるが，IEICE CPSYとは単一のプログラムを構成した．ARC若手奨励賞4件．

* 第209回 2015/10/08（木）＠ CEATEC会場（IEICE CPSYと連催）

発表21件．CPSYと連催し，萌芽的コンピュータシステム研究展示会として開催した．CEATEC会場内において，ポスターセッションのみの会となる．

* 第210回 2016/01/19（火）～ 21（木） ＠慶應大学 日吉キャンパス 来往舎（IEICE CPSYほかと連催）

発表38件．IEICE CPSY，VLD，RECONF，IPSJ SLDMと連催．ARC若手奨励賞1件．

* 第211回 2016/03/24（木）～ 25（金） ＠福江勤労福祉センター (ETNET)

発表47件．IEICE CPSY，DC，IPSJ EMB SLDMと連催．ARC若手奨励賞1件．

# シンポジウム・国際会議等の報告

2015/12/08（火）～11（金）に札幌市産業振興センターで開催された，International Symposium on Computing and Networking ― Across Practical Development and Theoretical Research ― (CANDAR) 2015，および，その併設ワークショップInternational Workshop on Computer Systems and Architectures (CSA) 2015に，CPSYとともに協賛 (technical cosponsor) した．

# 総括

主に国内の環境の変化が激しく，ARCとしても変化を迫られている．昨年度から，研究会の名称を計算機アーキテクチャ研究会からシステム・アーキテクチャ研究会へと変更した．また，長年競合関係にあった電子情報通信学会CPSYとの連携を強化することとなった．2015年度は，第208回以降のすべての研究会を連催とし，また，上記の国際会議CANDARにも共同で協賛した．ゆくゆくは，実際上一体としての運営を目指す．

その結果，情報処理学会のEMB，SLDM，電子情報通信学会のDC，RECONF，RIS，VLDなど，ハードウェア分野の研究会との連携が強化された一方で，HPC，OS，PROなど，IPSJのシステム分野の研究会との共催は少なくなってしまった．

今後は，関連する研究会との連携をさらに強化し，登録会員が必要とする研究発表の場を提供すべく，活動を盛り上げていく予定である．

# その他

長年に渡り主催をとして参加してきたJoint Symposium on Parallel Processing (JSPP)，Symposium on Advance Computing Systems and Infrastructures (SACSIS) の系譜に連なるAnnual Meeting on Advanced Computing System and Infrastructure (ACSI) は一旦終了することとなった．現在，多くの研究会とともに「考える会」を立ち上げ，その後について検討中である．